

会 議 報 告

島田市市長戦略部広報課

第1回 島田市ブランドデザインワークショップ分科会

以下のとおり報告します。

日 時	平成 28 年 6 月 1 7 日 午後 3 時 00 分～午後 5 時 00 分						
場 所	プラザおおるり第 4 会議室						
参加者	ファシリテーター トコナツ歩兵团 団長 渡部祐介氏 参加者 島田茶業青年団 3 支部 6 名 JA 大井川 2 名 事務局 3 名（農林課・広報課）						
内 容	<p>○課長挨拶</p> <p>一昨年からの市のシティプロモーションの取組について説明を行った。 今回のワークショップの目的、お茶に関しての意見だしの場であること、「緑茶化」の広がりについての説明を行った。</p> <p>○経過説明</p> <p>昨年の取り組みと今年度の取組予定についての紹介を行った。今年度市の事業として計画しているものについて、お茶のブランド化・テストマーケティング等について説明した。</p> <p>○ワークショップ（トコナツ歩兵团 ファシリテート）</p> <p>各支部に島田のお茶を「市外の人」に対して説明することができるわかりやすい煎茶の種類についてのヒアリングを実施した。</p> <p>意見</p> <ul style="list-style-type: none">・現状緑茶化計画の周知が不足している。島田茶の計画であると認識している人が多くいるが説明すればわかってもらえる。・現状ブランド名として世の中に認知されているのは、川根茶のみ。・地名のブランド名について、こだわりはあると思うが、あくまでプロモーションのお茶を作るということで問題ないのではないかと。・ファーストユーザー向けに、何を持って島田の茶を PR するのはわかりやすく消費につながっていくのかを検討した。 <p>わかりやすく説明しながらも専門性も感じることができるよう案として下記表の基準がよいのではないかと</p> <p>素材からのアプローチ</p> <table border="1"><thead><tr><th>種類</th><th colspan="2">基準</th></tr></thead><tbody><tr><td>蒸し工程</td><td>浅</td><td>深</td></tr></tbody></table>	種類	基準		蒸し工程	浅	深
種類	基準						
蒸し工程	浅	深					

ロースト	弱	強
カフェイン	少ない	多い
アミノ酸	少ない	多い

これらが一般的とする案がでた。

※この表の8種類に加え、ほうじ茶、玄米茶、茎茶、抹茶、かぶせ茶等を加えることも検討。

別案でチャート式シーンに合わせて気分を選択していきながら、最後に「おすすめ茶」に誘導する**シーンからのアプローチ**の提案もありました。

例) 朝のむお茶

〇〇な気分の時に飲めるお茶

この程度であれば、ロットにもよるが1社で作成することも可能である。次回、タイプ別の茶を持ち寄り、試飲会を開催。島田市にあった茶の仮選定を行っていく予定

まとめ

プロモーション用のお茶については、今回実のある話し合いが行われた。今後の茶需要を拡大させていくための出口の販売部分での解決の糸口となるような、初心者向けのお茶製作の方向で検討を進めていく。